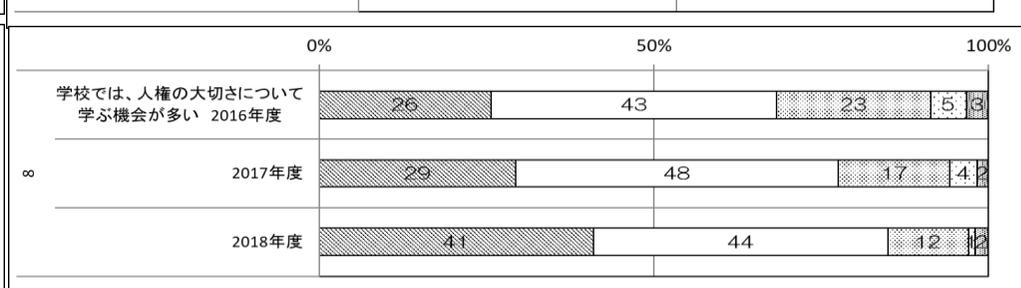
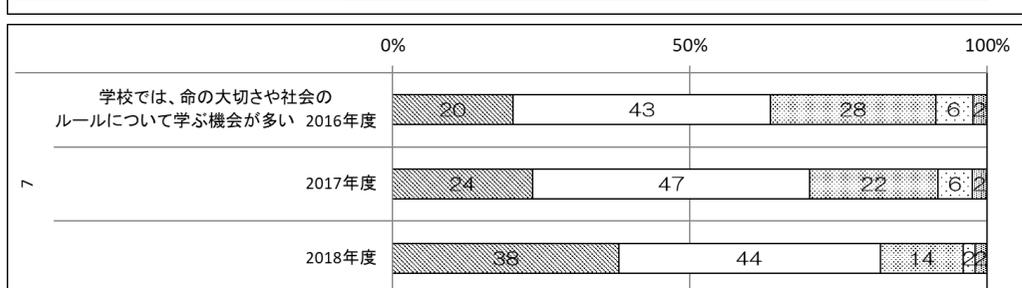
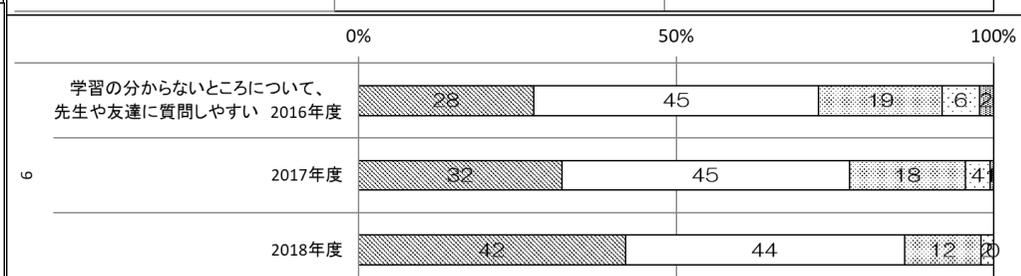
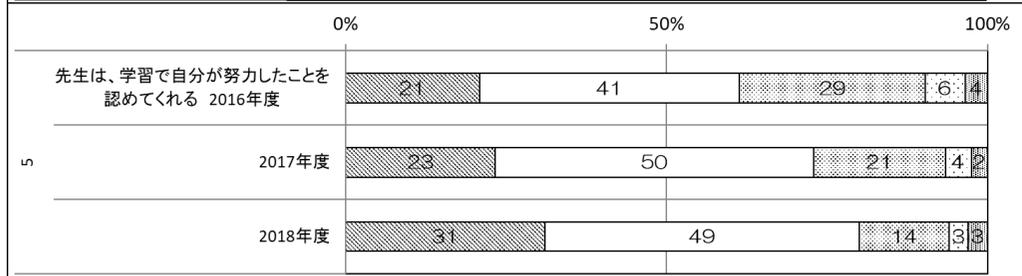
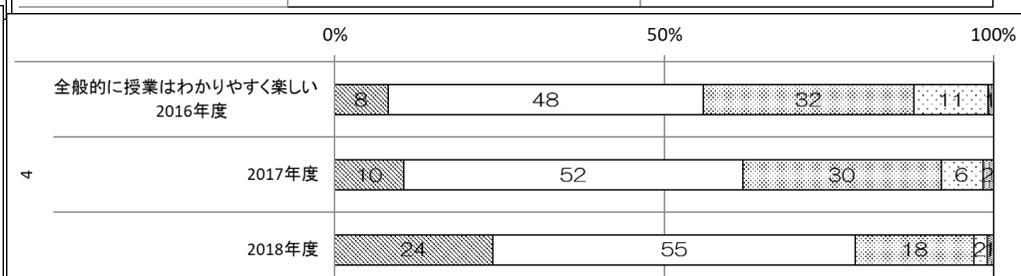
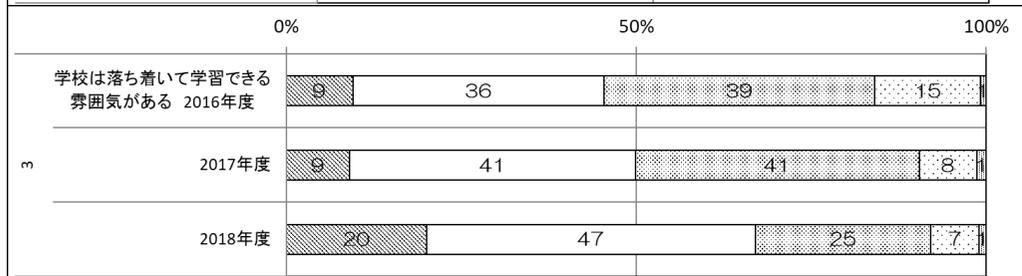
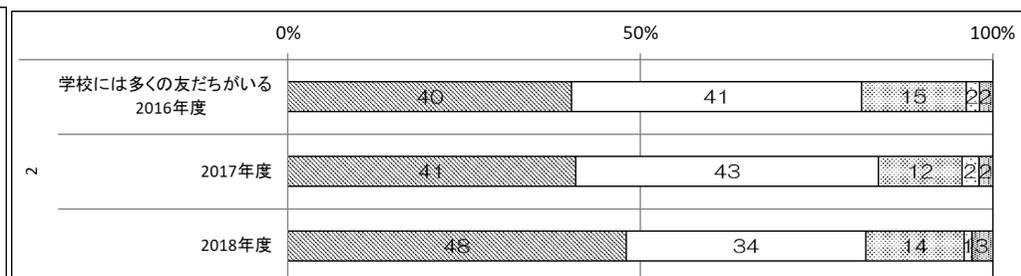
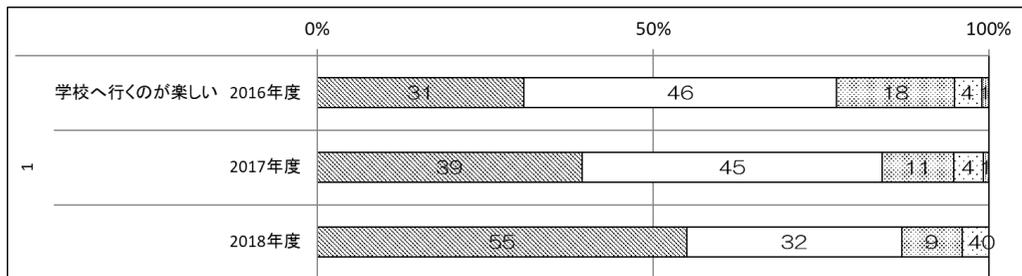


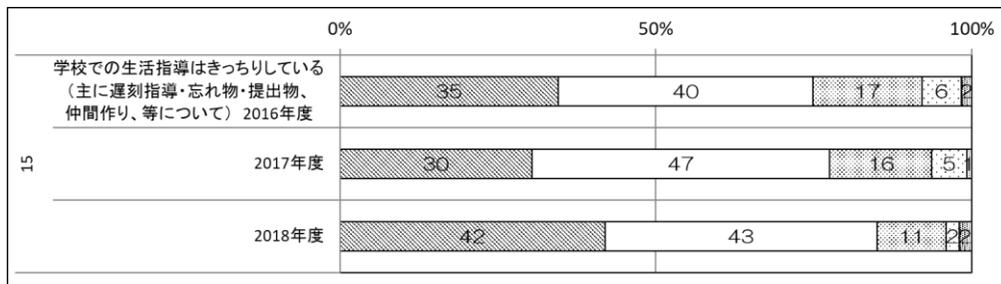
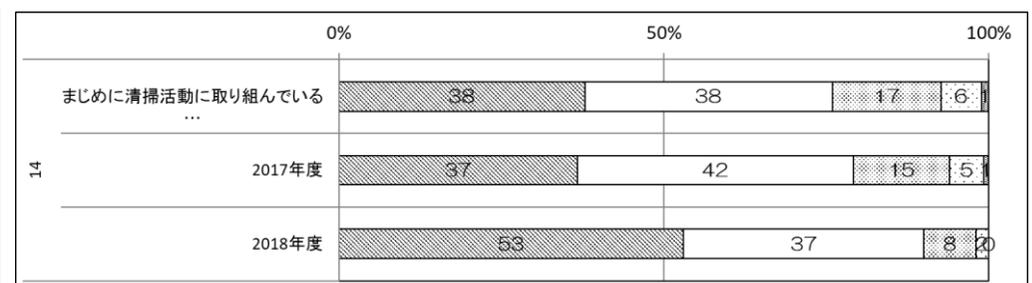
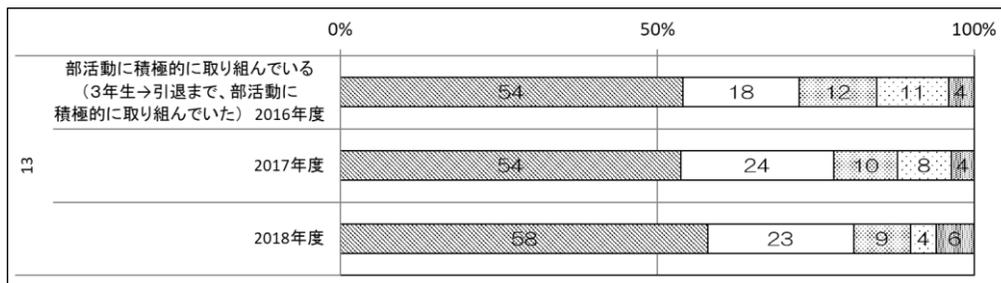
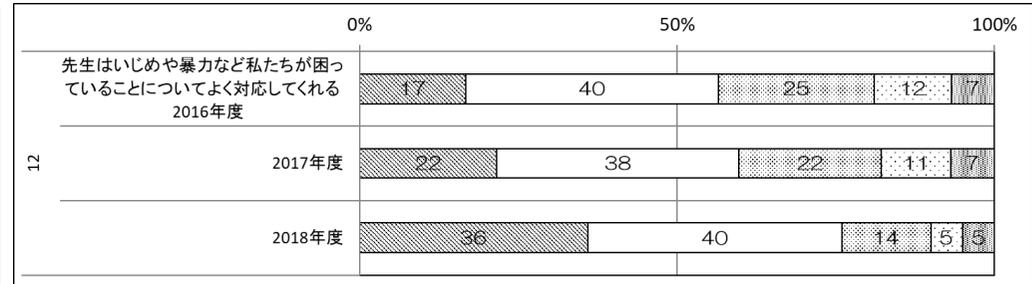
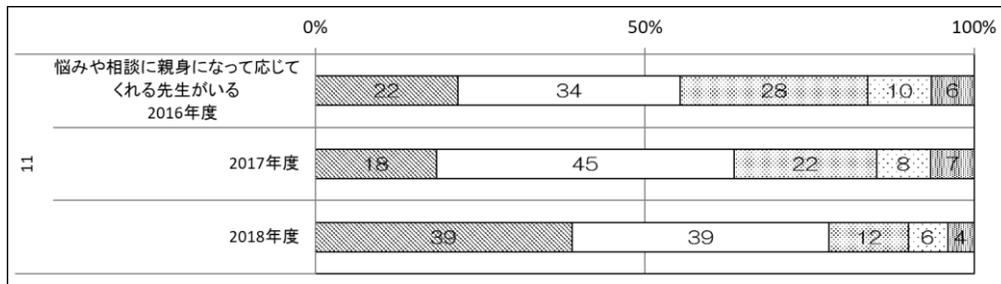
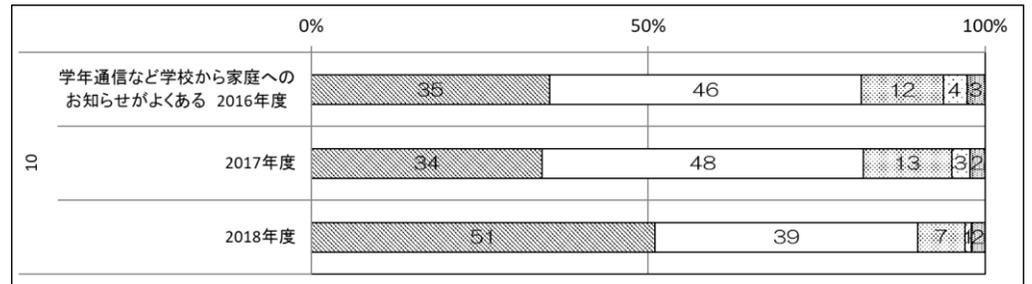
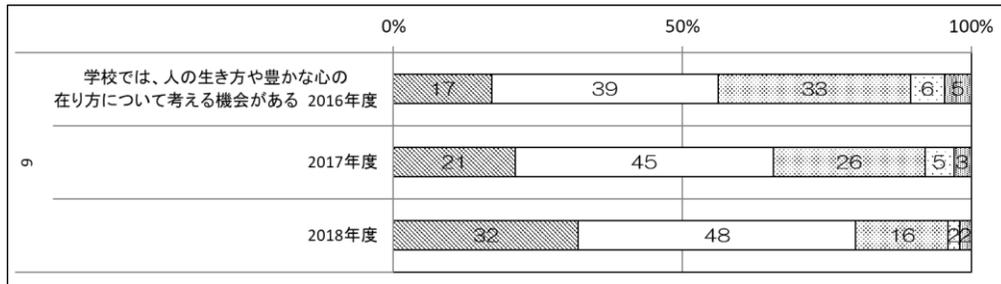
豊中市立第五中学校 平成30年度（2018年度）学校教育自己診断結果報告

< 生徒編 >

グラフ 上段：2016年度 中段：2017年度 下段：2018年度

グラフ中の数字（％） 左側より順に 「とてもそう思う」・「そう思う」・「あまり思わない」・「思わない」・「無回答」

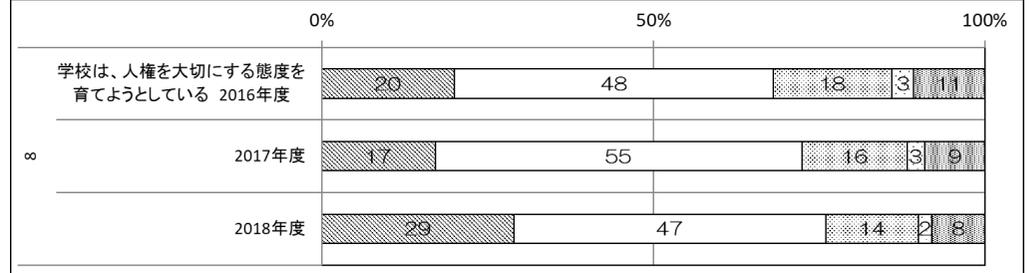
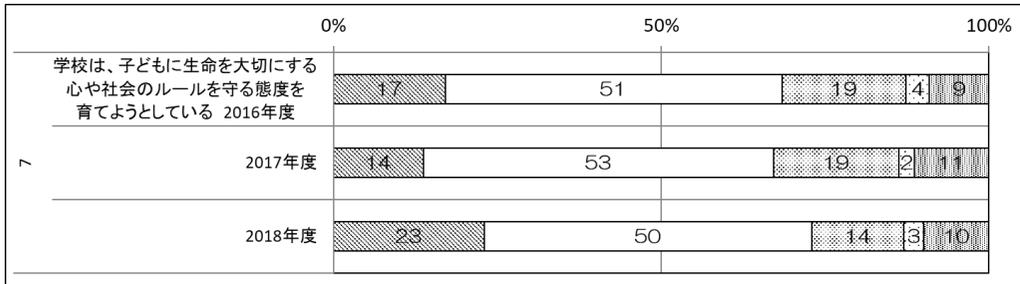
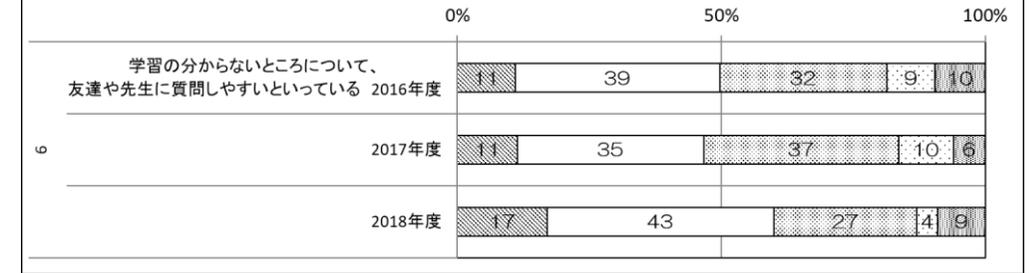
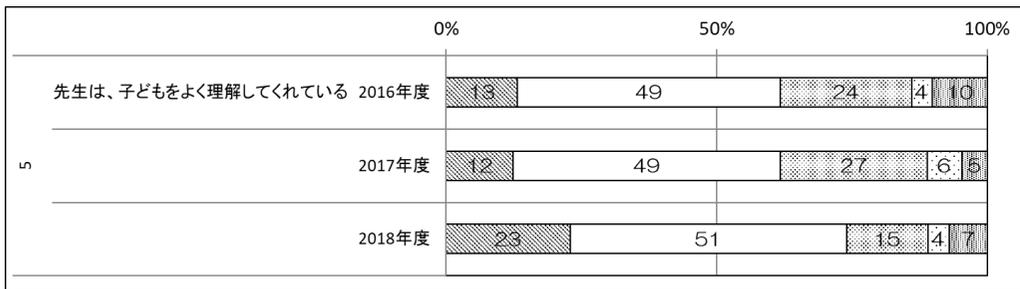
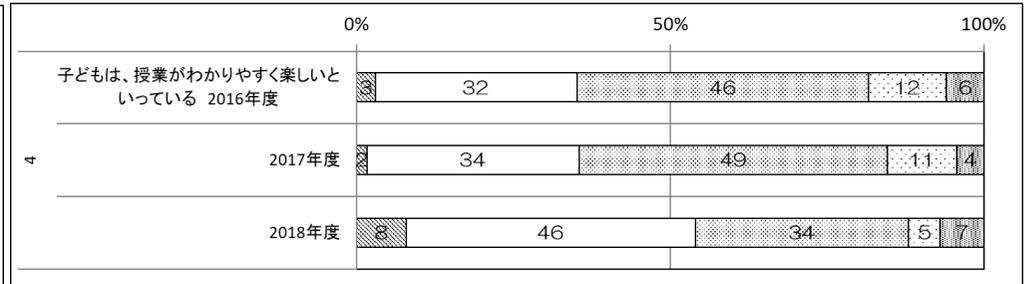
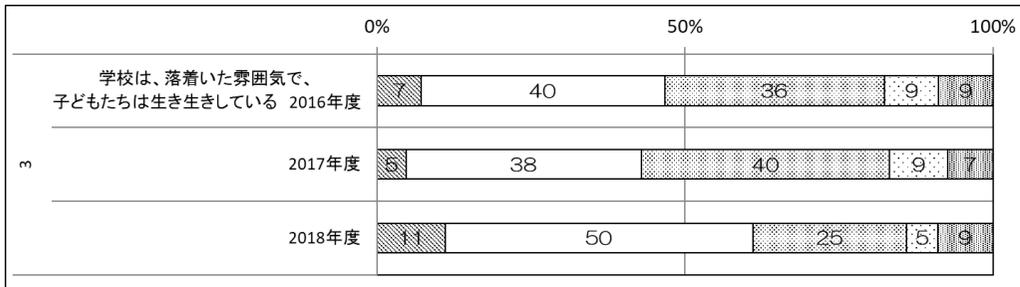
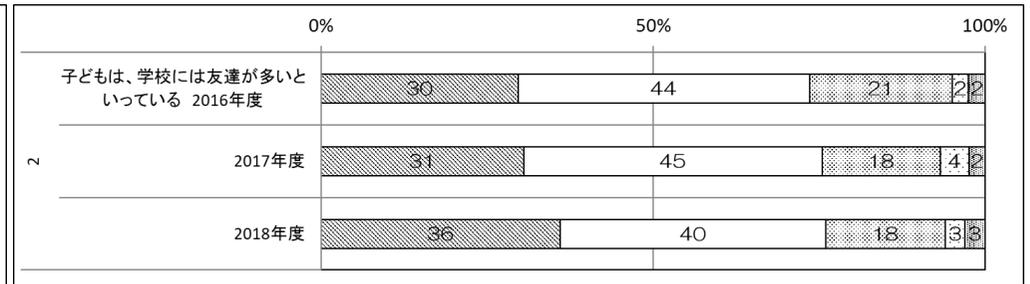
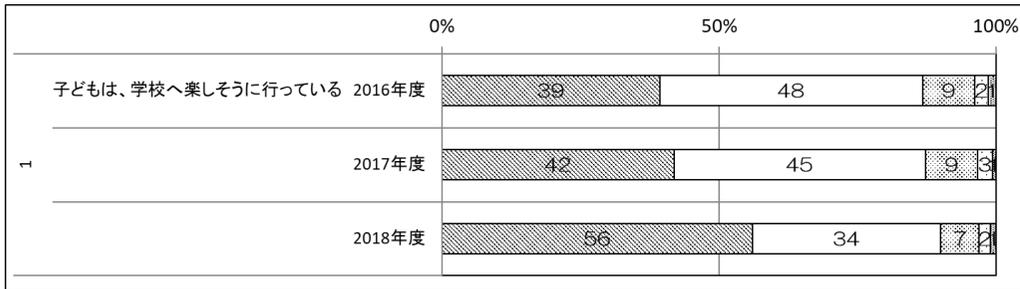


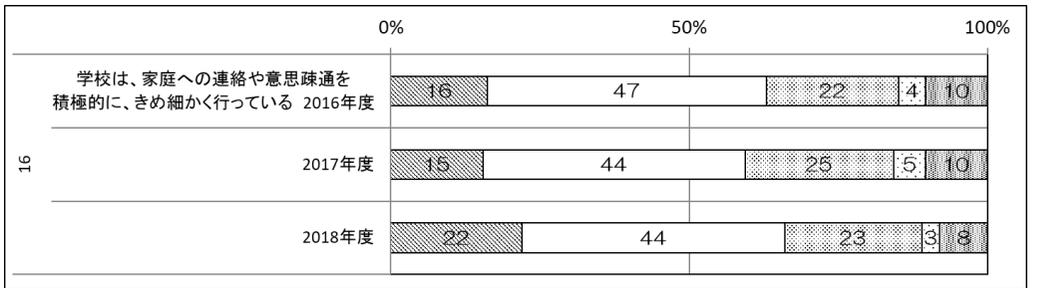
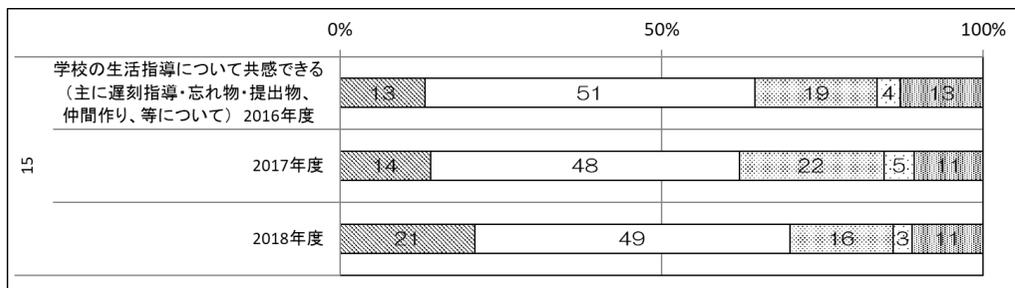
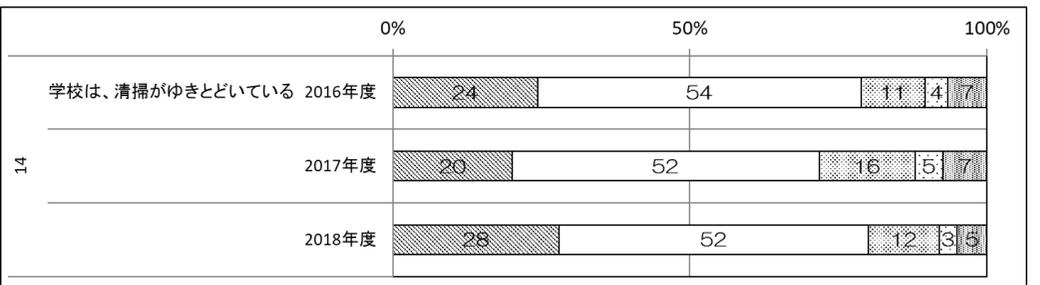
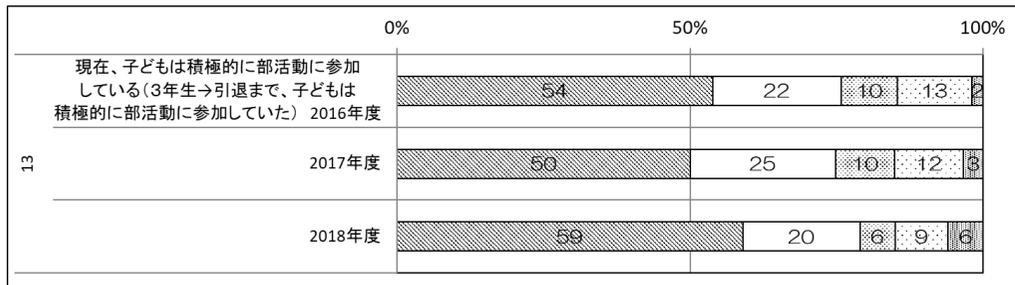
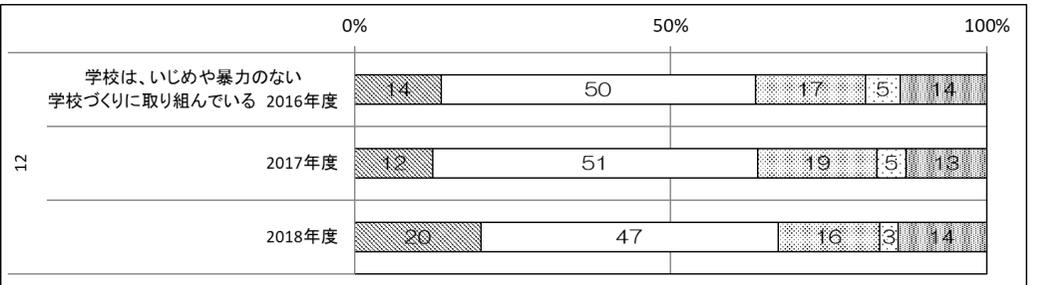
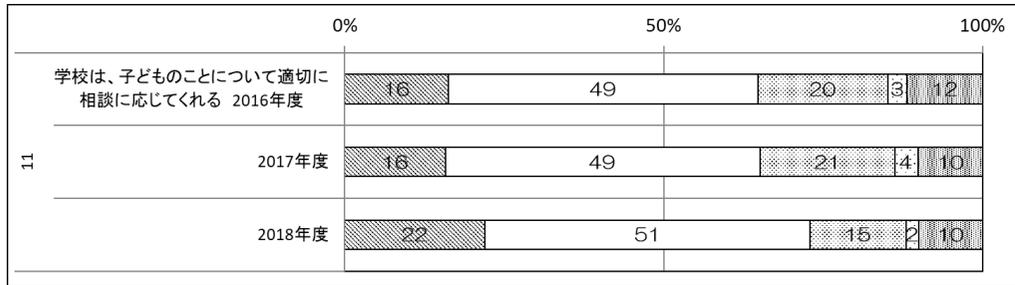
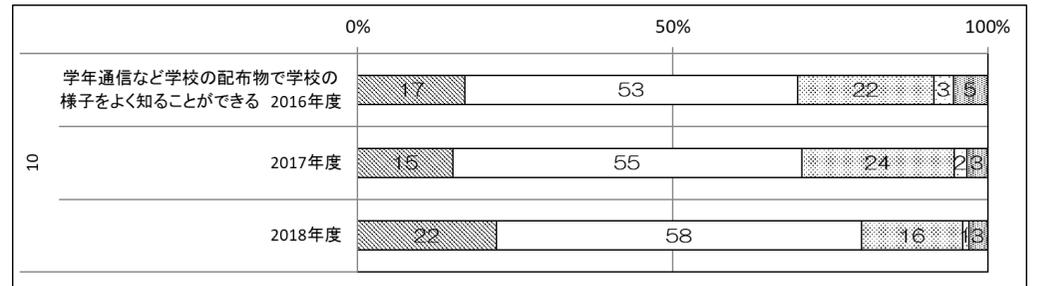
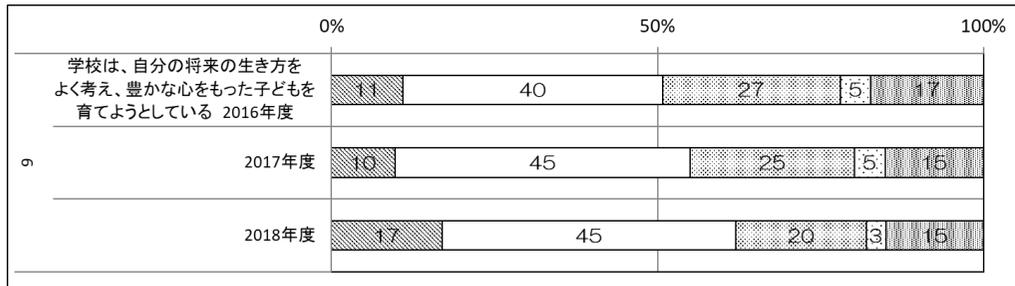


< 保護者編 >

グラフ 上段：2016年度 中段：2017年度 下段：2018年度

グラフ中の数字(%) 左側より順に 「とてもそう思う」・「そう思う」・「あまり思わない」・「思わない」・「無回答」





<生徒編>

※数値は左から 2016 年度→2017 年度→2018 年度

* 学校生活への肯定的意見の推移（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

- 1 「学校へ行くのが楽しい」 77%→84%→87%（とても：31%→39%→55%）
- 2 「多くの友達がいる」 81%→84%→82%（とても：40%→41%→48%）

8割以上の生徒が「学校へ行くのが楽しい」、「多くの友達がいる」としている。特に「学校へ行くのが楽しい」の割合は年々向上しており、かつ、「とても」の割合が半数以上を占め、学校生活の充実を図る取り組みの推進が一定成果をあげていることが伺える。

* 学習への肯定的意見の推移（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

- 3 「落ち着いて学習できる」 45%→50%→67%（とても：9%→9%→20%）
- 4 「授業はわかりやすい」 56%→62%→79%（とても：8%→10%→24%）
- 6 「先生や友達に質問しやすい」 73%→77%→86%（とても：28%→32%→42%）

授業の工夫改善への取り組みにより、学習にかかわる肯定的意見は大いに上昇している。しかし、「落ち着いて学習できる」の肯定的意見が7割に満たない点については、今後一層改善を進めていくべき課題である。

* 生徒と先生のかかわりに関する項目の肯定的意見の推移（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

- 5 「先生は努力したことを認めてくれる」 62%→73%→80%（とても：21%→23%→31%）
- 11 「悩みや相談に親身になってくれる」 56%→63%→78%（とても：22%→18%→39%）
- 12 「いじめや暴力に対応してくれる」 57%→60%→76%（とても：17%→22%→36%）
- 15 「生活指導はきっちりしている」 75%→77%→85%（とても：35%→30%→42%）

日々の取り組みの結果、生徒と先生のかかわりに関する肯定的意見は、いずれの項目も前年度に比べると大きく増加している。しかし、反面「悩みや相談に親身になってくれる」「いじめや暴力に対応してくれる」に関する項目については、2割強の生徒が否定的に捉えており、今後も生徒の変化に気づく視点と、対話のできる関係づくり、個々の思いや悩みを組織で対応できる体制を一層充実させることが必要である。

*心を育てる教育に関する項目の肯定的意見の推移（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

7「命の大切さ社会のルールを学ぶ機会が多い」 63%→71%→82%（とても：20%→24%→38%）

8「人権の大切さを学ぶ機会が多い」 69%→77%→85%（とても：26%→29%→41%）

9「人の生き方や豊かな心について考える機会がある」 56%→66%→80%（とても：17%→21%→32%）

心を育てる教育に関する項目では、いずれも肯定的意見が増加している。道徳授業の推進や人権学習の充実等、学校としての組織的な取り組みや効果的な授業実践の成果が表れている。今後一層心を育てる教育を推進していくため、取り組みの充実、教育の中身に関する研修を積み上げていく必要がある。

*その他

10「学年通信など学校から家庭へのお知らせがよくある」 81%→82%→90%（とても：35%→34%→51%）

13「部活動に積極的に取り組んでいる」 72%→78%→81%（とても：54%→54%→58%）

部活動への取り組み姿勢が改善されてきている。

肯定的意見が前年度に比べ大きく向上した。「とても」の割合も半数を超え、学校メールやホームページも含めた発信力向上の取り組みが効果を上げている。

<保護者編>

※数値は左から 2016 年度→2017 年度→2018 年度

***学校生活への肯定的意見の推移**（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1「学校へ楽しそうに行っている」 | 87%→87%→90%（とても：39%→42%→56%） |
| 2「多くの友達がいるといっている」 | 74%→76%→76%（とても：30%→31%→36%） |
| 3「学校は落ち着いた雰囲気子どもは生き生きしている」 | 47%→43%→61%（とても：7%→5%→11%） |

「学校へ楽しそうに行っている」は微増だが肯定的意見が9割に達した。「とても」の割合も大幅に向上し、生徒の傾向と同様で、様子が反映されている。「多くの友達がいる」についての肯定的意見は、前年と変わらず。生徒の傾向も微減だったことから、人間関係のよりよい広がりについては今後一層取り組みを深めていくべきだと考える。「学校は落ち着いた雰囲気子どもは生き生きしている」の肯定的意見はようやく半数を超えた。今後も保護者の方に、より安心して生徒を学校に送り出してもらえるよう、生徒たちが生き生きできる落ち着いた学校づくりに、教職員が力を合わせて取り組んでいくことが重要である。

***学習への肯定的意見の推移**（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 4「授業はわかりやすいといっている」 | 35%→36%→50%（とても：3%→2%→8%） |
| 6「先生や友達に質問しやすいといっている」 | 50%→46%→60%（とても：11%→11%→17%） |

学習への保護者の肯定的意見は大きく向上しているが、生徒の学習へのアンケート結果とはかい離している。保護者の信頼を得ていくためにも、授業参観や授業改善の取り組みなど、今後一層情報発信を工夫していくことが必要である。

***保護者と先生のかかわりに関する項目の肯定的意見の推移**（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 5「子どもをよく理解してくれている」 | 62%→61%→74%（とても：13%→12%→23%） |
| 11「子どものことで相談に応じてくれる」 | 65%→65%→73%（とても：16%→16%→22%） |
| 12「いじめや暴力の無い学校づくりに取り組んでいる」 | 64%→63%→67%（とても：14%→12%→20%） |
| 15「生活指導に共感できる」 | 64%→62%→70%（とても：13%→14%→21%） |
| 16「家庭への意思疎通をきめ細かく行っている」 | 63%→59%→66%（とても：16%→15%→22%） |

保護者と先生にかかわる項目について、上記項目はすべて向上することができた。しかし「家庭への意思疎通をきめ細かく行っている」という項目は肯定的意見が依然7割を下回っており、多くの保護者の思いにこたえられていない状況がある。今後より一層生徒に関わる情報を保護者と共有し、学校の姿勢を明らかにしながら保護者との信頼関係を築いていくことが大きな課題である。

*心を育てる教育に関する項目の肯定的意見の推移（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数字）

7「命の大切さ社会のルールを育てようとしている」 68%→67%→73%（とても：17%→14%→23%）

8「人権の大切さを育てようとしている」 68%→72%→76%（とても：20%→17%→29%）

9「人の生き方や豊かな心について育てようとしている」 51%→55%→62%（とても：11%→10%→17%）

心を育てる教育に関する上記項目については、前年度に比べどの項目も向上した。しかし、すべてについて否定的意見を減少させるべきであり、道徳授業の実践等を通し、より生徒に響く効果的な取り組みを工夫していく必要がある。中でも「命の大切さ社会のルールを育てる」教育については、今後も一層保護者にも取り組みが伝わるような工夫をしていく必要がある。

*その他

10「学校の様子を知ることができる」 70%→70%→80%（とても：17%→15%→22%）

前年度に比べ向上しているが、学校メールやホームページの活用など保護者にきっちり届く情報発信の仕方をさらに工夫する必要がある。

13「部活動に積極的に取り組んでいる」 76%→75%→79%（とても：54%→50%→59%）

前年度に比べ肯定的意見は微増しているが、今後も部活動のあり方については、保護者に理解される活動を工夫していく必要がある。